

折戸

アタッチメント枠 四方枠

改訂

・引手ホルダーを変更しました。

このたびは、YKK AP 商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

- 本説明書は、「ドアリモ 浴室ドア 折戸 アタッチメント枠 四方枠」の施工について説明しています。
- 本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。
- 本説明書は、必ず施工される方にお渡しください。お施主様向け取扱説明書は、必ずお施主様にお渡しください。
- 商品購入前の取り付け可否、注意事項、商品手配における事前確認などの説明については、カタログ内に記載の「現場調査マニュアル」を参照してください。

本説明書内の表記

- 商品の施工をしていただくうえで、人身事故や物的損害を未然に防止するため、守っていただきたいこととして、下記のような警告表記をしています。内容をよくご理解のうえ、商品の施工を行ってください。

警告／注意／お願い

表 記	意 味
警告	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される
注 意	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が生じることが想定される
お願い	製品の取り扱いを誤った場合、人身への危害と財産への損害には至らないが、製品自体の損傷や不具合が生じると思われる場合や、操作・使用・お手入れ方法などの注意喚起情報

その他の表記

表 記	意 味	表 記	意 味
改訂	商品や作業の変更点	シーリング材	必ずシーリングをする箇所
チェック	作業するうえで必要な情報	電動ドライバー禁止	電動ドライバーの使用禁止
ポイント	知っておくと便利な情報	電気工事	電気工事士の資格が必要な作業

- 一部を除き、本説明書内の単位は「mm」で示しています。

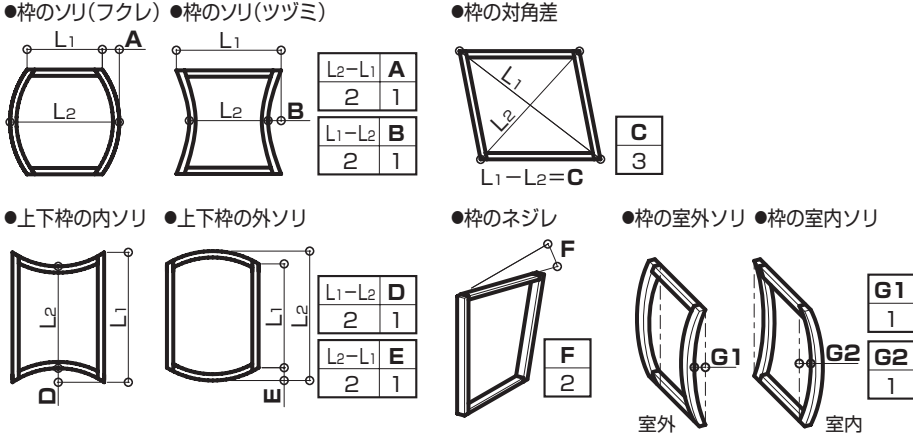
安全にお取り扱いいただくために

注意

- 施工の際は、必ず同梱部品を使用してください。性能に影響を及ぼし、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 本説明書記載以外の加工、施工など、改造を行わないでください。性能に影響を及ぼし、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 商品の切り詰め加工はしないでください。性能に影響を及ぼし、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 施工は、同梱のねじを使用し、最後まで締め付けてください。締め付け不良は、性能に影響を及ぼし、漏水や思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 商品が破損、変形しないよう、取り扱いには十分注意してください。破損、変形した商品を取り付けた場合、性能に影響を及ぼし、漏水や思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 取り付け前の商品に直射日光が当たり、高温になるような場所に放置しないでください。反ったり、変形したりした場合、性能に影響を及ぼし、漏水や思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

注意

- シーリングは説明書に従って必ず行ってください。漏水につながるおそれがあります。
- 電動ドライバー、エアドライバーを使用する際は、適正トルクでねじ留めしてください。締め付け不良は、商品の変形や漏水につながるおそれがあります。締め付けトルクは、以下を目安に設定してください。2.0～2.5N・m（20～25k g f・cm）
- 取り付け開口部の水平・垂直、対角寸法およびねじれのいないことを確認してください。取り付け開口部の精度が悪いと商品の性能に影響を及ぼすおそれがあるだけでなく、漏水につながるおそれがあります。
- 枠取り付け精度が下記寸法以下になっていることを確認してください。許容範囲を超えた場合、性能に影響を及ぼすおそれがあるだけでなく、漏水につながるおそれがありますので、調整または再施工を行ってください。

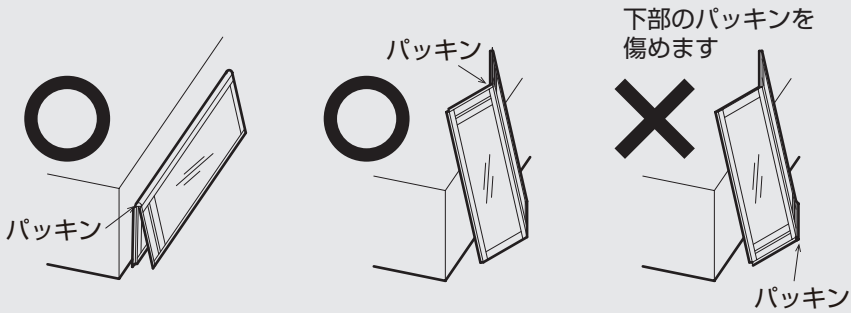


お願い

- 調整ねじは、調整幅以上まわさないでください。故障の原因となります。
- 商品の上ののったり、はしごをかけたりしないでください。無理な重さをかけると、変形して破損するおそれがあります。
- 商品表面にキズがつかないように、取り扱いには十分注意してください。キズがつくと、商品の腐食につながるおそれがあります。
- 清掃が必要な場合は、中性洗剤(1～2%の水溶液)を使用してください。酸・アルカリ・塩素系・オレンジオイル配合の洗剤液や有機溶剤を使用すると、商品の腐食につながるおそれがあります。
- 塩素系薬品（次亜塩素酸ナトリウムを含む漂白剤・カビ取り剤など）を使用した場合、必ず清潔な布や紙で水拭きしてください。表面に付着したまま放置されると、変色するおそれがあります。



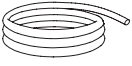
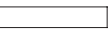
- 作業を行う際は、作業に適した服装で、保護具（保護帽、安全帯、目・耳・手・足の保護具）を着用し、安全に作業を行ってください。
- 作業場所の整理整頓を行うとともに、安全確保を行ってください。
- 商品の運搬、組み立て、吊込みは、相応の人数で行ってください。（最大で約10kgになります）
- 折戸の下部にはパッキンが付いています。パッキンの損傷防止のため、はずした折戸は、横置きまたはパッキンが上になるように、たて置きしてください。

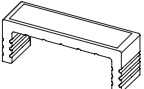


同梱一覧

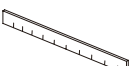
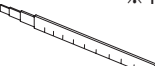
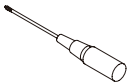
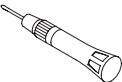
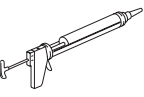
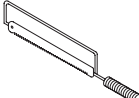
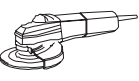
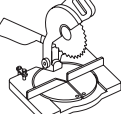
改訂

番 号	①	②	③	④	⑤
姿 図					
品 名	上枠アタッチメント	下枠アタッチメント	たて枠アタッチメント	引手	引手ホルダーセット
品 番	—	—	—	2K-81956	3K-33692
個 数	1	1	2	1	1
備 考	AT材付	AT材付	AT材付	浴室側	浴室側

番 号	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
姿 図					
品 名	引手	皿タッピンねじ (φ4×16)	バックアップ材	スペーサー	スペーサー
品 番	2K-34737	EF-4016D6	K-25831	2K-27148	K-22228
個 数	1	16	1	12	32
備 考	脱衣室側	アタッチメント 取り付け用	φ8mm×8m	t=1.5mm	t=7mm

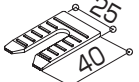
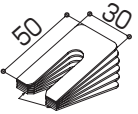
番 号	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
姿 図					
品 名	中トラスタッピンねじ (φ4×20)	引手裏板	引手ホルダー	引手	排水部品
品 番	EM-4020D8	3K-14699	K-34991	K-91980-1	3K-32068
個 数	2	2	2	1	2
備 考	ガスケット仕様用 引手取り付け用	ガスケット仕様用	ガスケット仕様用	ガスケット仕様用	下枠アタッチメント用

施工に使用する工具

巻き尺	直尺	アルミスタッフ ※1	差し金	下げ振り
				
水準器	ドライバー(手回し)	電動ドリル トルク調整付	ドリル刃 φ3.2~3.5、 φ4.5、φ5、φ6	ボンチ
				
シーリングガン	ヘラ	ペンチ	カッター	アクリルカッター
				
はさみ	金ノコ	ディスクグラインダー	切断機	ヤスリ
				
振動ドリル	かなづち・木づち	当て木	フレキシブルビット ※2	セーバーソー(推奨)
				

※1：一人作業や内法測定に適しています。
 ※2：納まりによって狭い場所にねじを打つ必要がある場合に使用します。

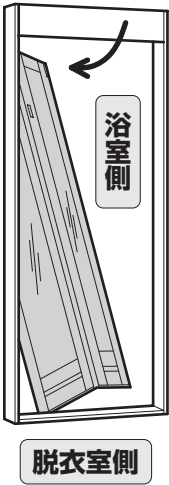
施工に使用する別途手配品

スペーサー(飼木)	施工調整スペーサー(平板)	シーリング材	気密・防水テープ	バックアップ材
	YS 2K-29658(厚さ0.5) YS 2K-29621(厚さ1) YS 2K-29622(厚さ3) YS 2K-29623(厚さ5) 	 防カビ入り		
マスキングテープ	プライマー	調整ライナー	施工調整スペーサー	
		YS BS-PUH41(厚さ1・ホワイト) YK BS-PUH42(厚さ2・ブラック) YW BS-PUH43(厚さ3・ホワイト) YK BS-PUH44(厚さ5・ブラック) 	YS 2K-30389 (厚さ1.5・6枚束) 	

・既設枠との取り合いにより、同梱部品のねじ長さがあわない場合やスペーサーが不足する場合は、別途手配してください。

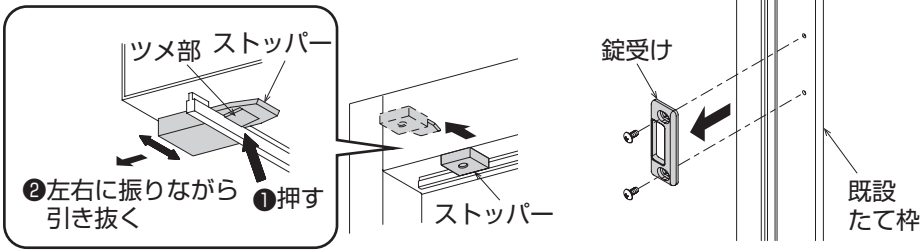
既設障子の取りはずし

1 既設の障子を持ちながら、浴室側へ倒して取りはずしてください。

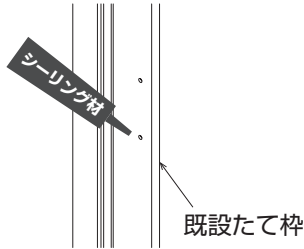


2 既設枠に付いているストッパー、錠受け、丁番などははずしてください。

チェック!
 ・ストッパーのツメ部が押しにくい場合は、マイナスドライバーなどでツメ部を押してください。

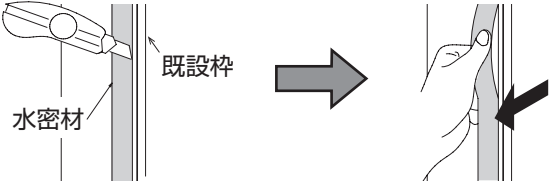


3 部品を取りはずしたねじ穴にシーリング材を充てんしてください。

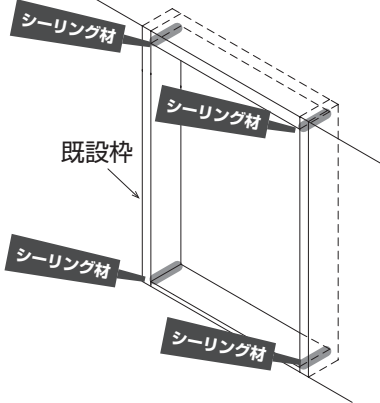


4 既設枠に付いている水密材をはずしてください。

ポイント
 ・水密材の端部にある、かしめや接着剤に切り込みを入れ、引き抜くと取りやすくなります。

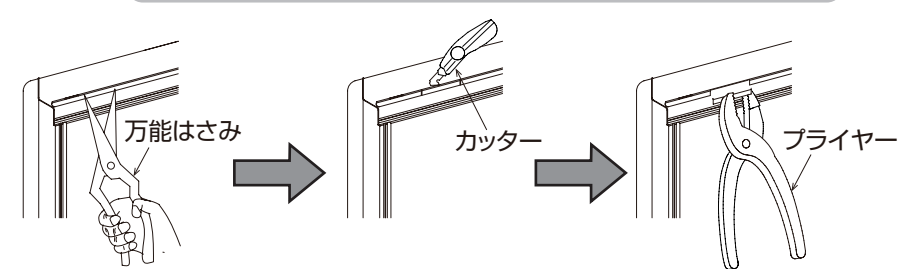
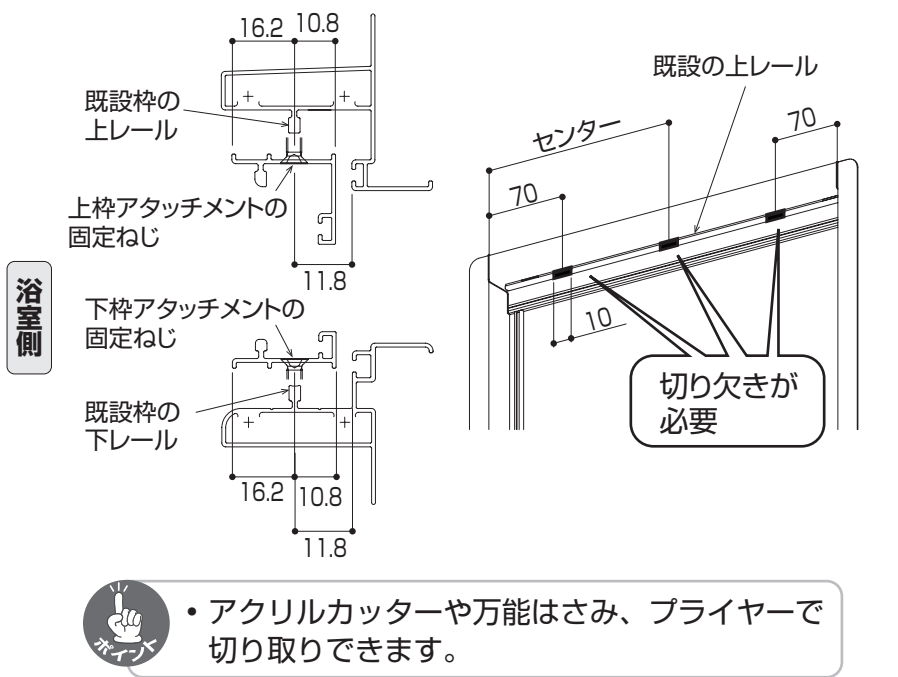


5 水密材をはずした後、既設たて枠と上下枠の接合部にシーリングをしてください。



既設障子の取りはずし（つづき）

6 新設上下枠の固定ねじと既設上下枠の上下レールが同じ位置の場合
ねじが固定される部分の上下レールを切り欠いてください。

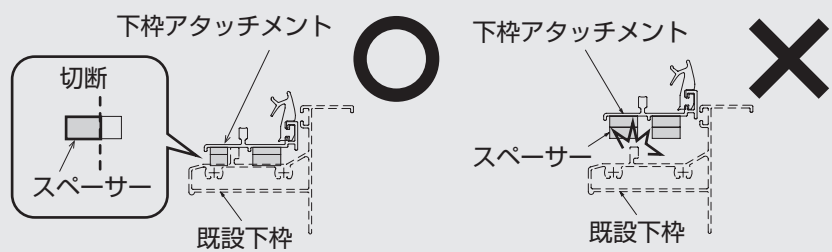


7 既設枠を中性洗剤（1～2%の水溶液）で清掃してください。

アタッチメント枠の仮固定

スペーサーの取り付け

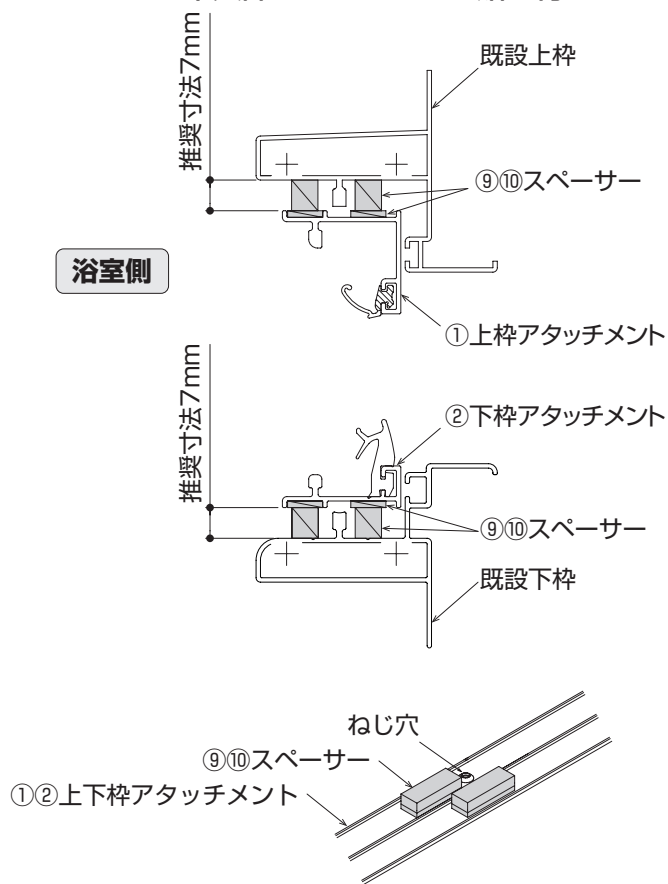
チェック！
・既設枠のレールとスペーサーが干渉する場合は、スペーサーを必要に応じて切断し、調整してください。



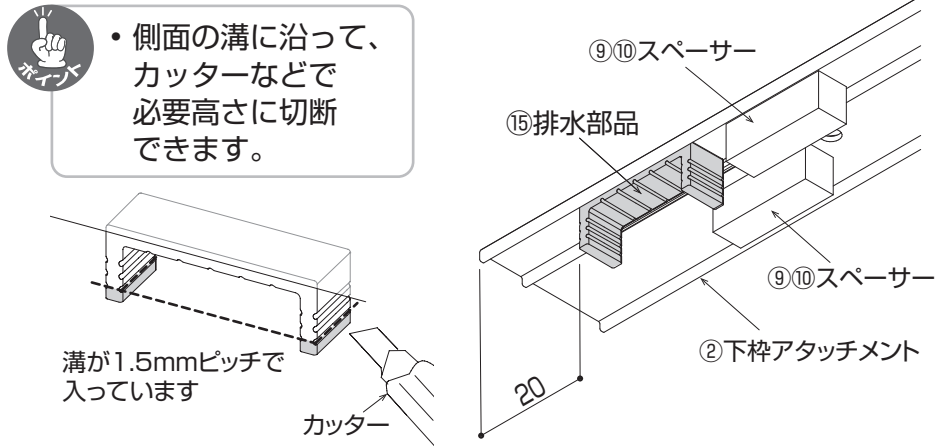
・枠の転び防止、下枠の垂れ下がり防止のため、バランスよくスペーサーを貼り付けてください。

1 既設下枠を基準にして、上下枠アタッチメントのねじ穴横、見込み方向に
スペーサーを貼り付けてください。

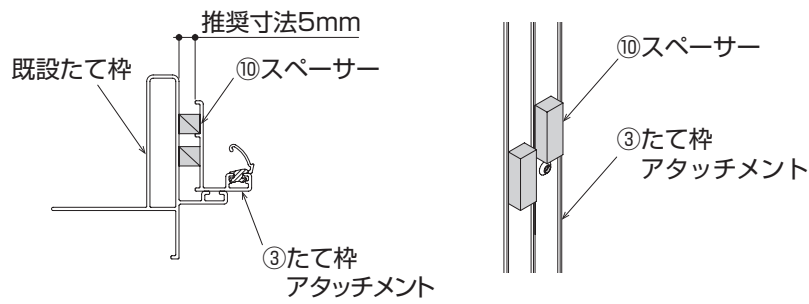
2 下枠アタッチメントの中央部にスペーサーを貼り付けてください。



3 下枠アタッチメントの両端部から20mmあけた位置に、排水部品を貼り
付けてください。

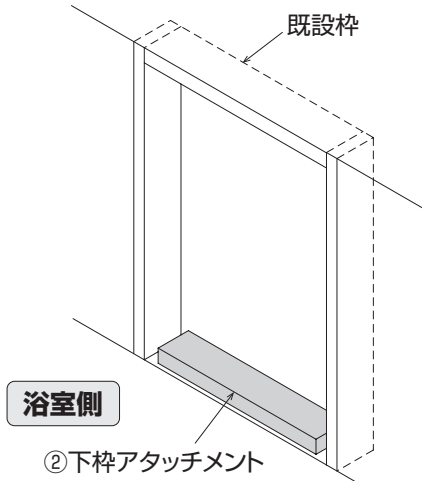


4 たて枠アタッチメントに、スペーサーを貼り付けてください。

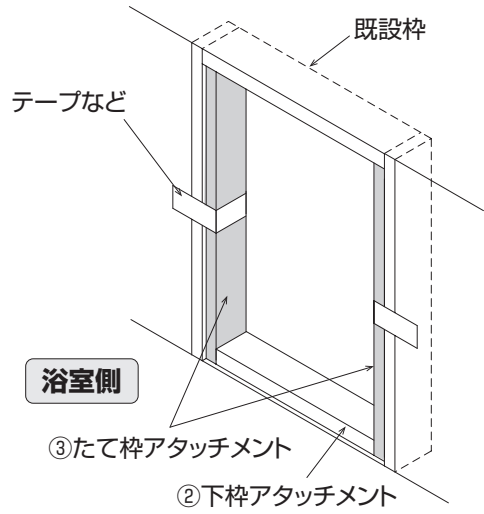
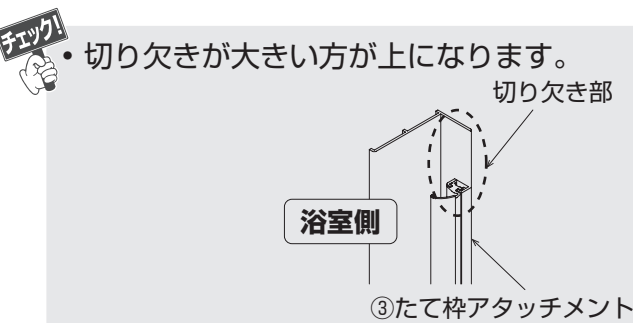


アタッチメントの仮固定

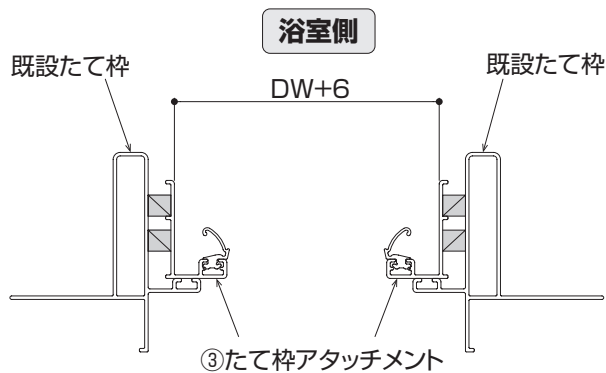
1 下枠アタッチメントを既設枠に仮固定してください。



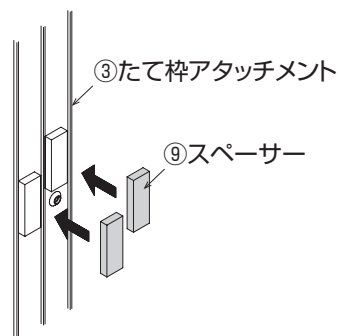
2 たて枠アタッチメントを下枠アタッチメントとすき間がないように既設枠
に仮固定してください。



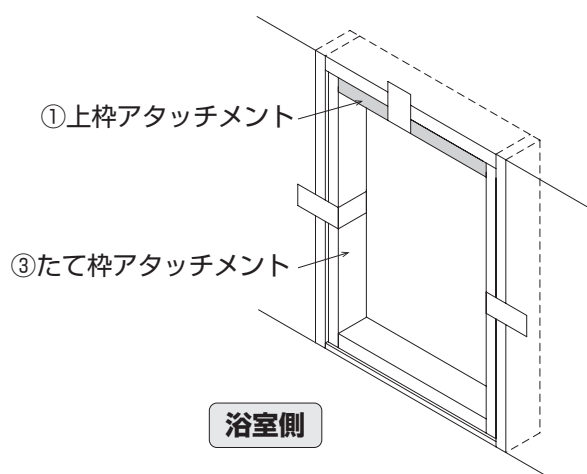
3 たて枠アタッチメント間の寸法位置を調整してください。



4 規定寸法を超える場合は、たて枠アタッチメントを一旦はずし、必要箇所にスペーサーを追加してください。



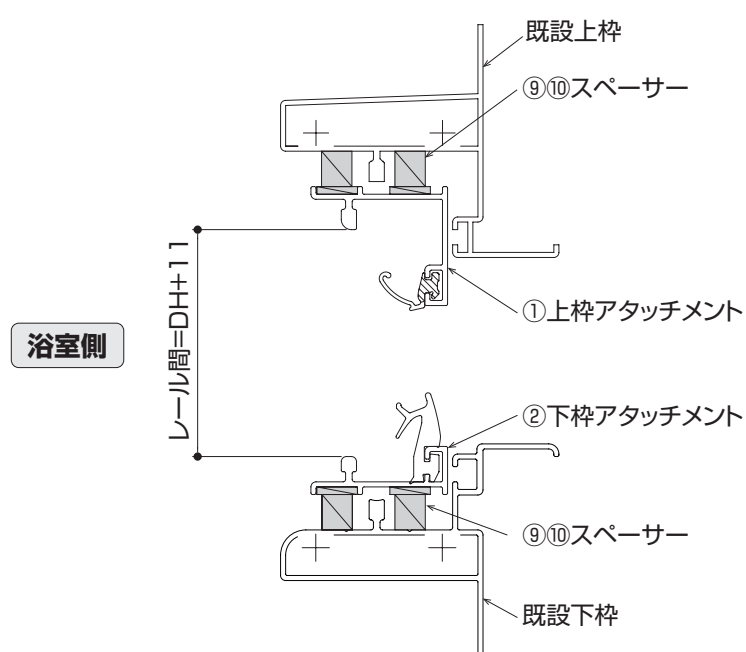
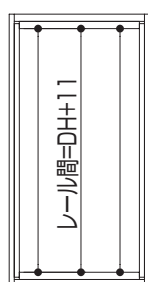
5 上枠アタッチメントを、たて枠アタッチメントとすき間がないように、既設枠に仮固定してください。



6 上下枠アタッチメント間の寸法位置を調整してください。

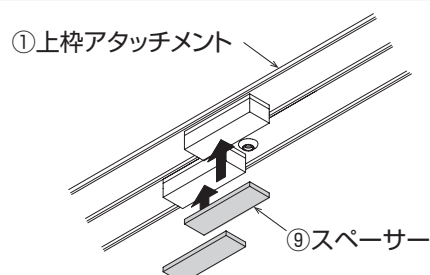
⚠ 注意

- 上下枠アタッチメントのレール間寸法を3箇所確認してください。
レール間=DH+11(+2)を超える場合、障子脱落のおそれがあります。
DH+11(-2)より小さい場合、障子が吊込めなくなるおそれがあります。

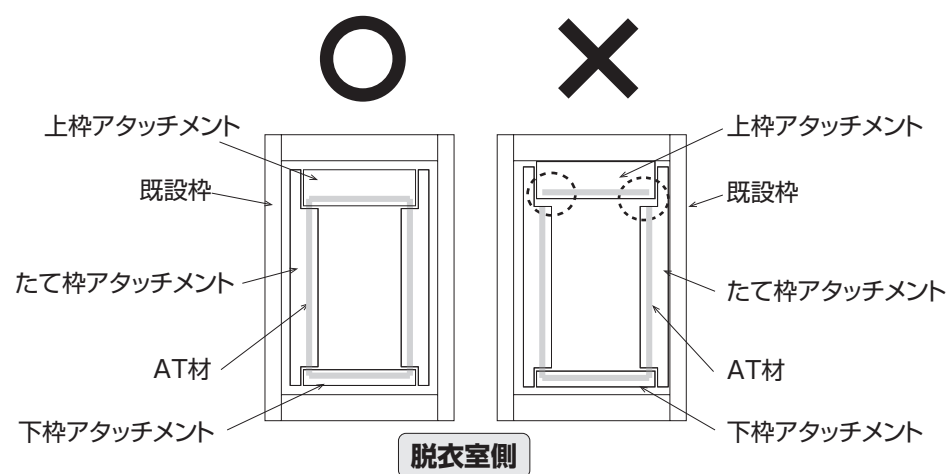


7 規定寸法を超える場合は、上枠アタッチメントを一旦はずし、必要箇所にスペーサーを追加してください。

- 荷重を受ける箇所のため、下枠アタッチメントにはスペーサーを追加しないでください。



8 上下左右のアタッチメント間および上下左右のAT材間にすき間がないことを確認してください。

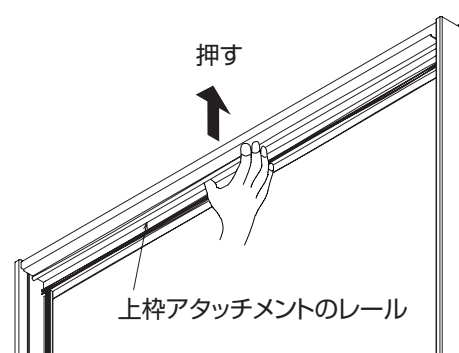


9 設置した新設枠の取り付け寸法が、枠の取り付け精度の寸法になるようスペーサーで調整してください。（-2-参照）

- 荷重を受ける箇所のため、下枠アタッチメントにはスペーサーを追加しないでください。

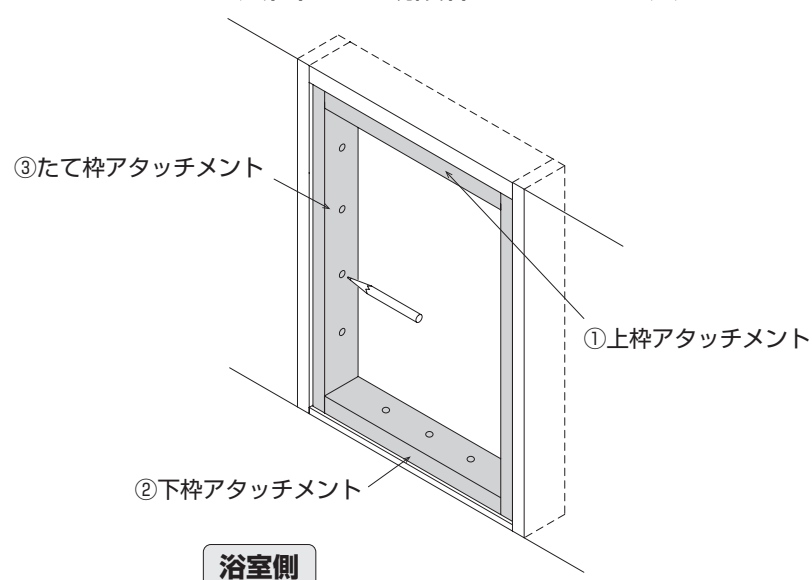
10 上枠アタッチメントのレール部分が、手で押してもたわまないことを確認してください。

- 上枠アタッチメントにたわみがあると、障子を開閉時に上部ラッチがかからなくなるおそれがあります。



取り付け穴位置のけがき

1 アタッチメントのねじ穴位置から既設枠に、けがきを入れてください。

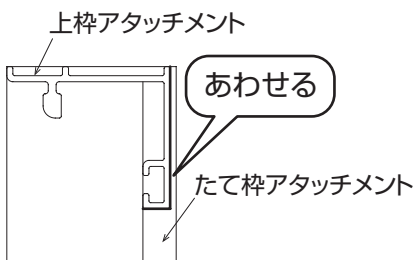


アタッチメント枠の取り付け

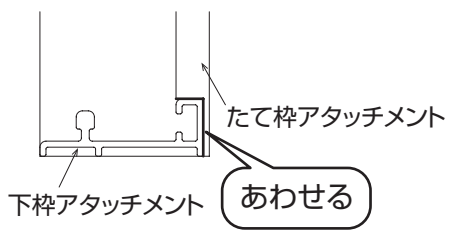
⚠ 注意

- たて枠アタッチメントと上下枠アタッチメントの見込み位置をあわせてください。漏水の原因となります。

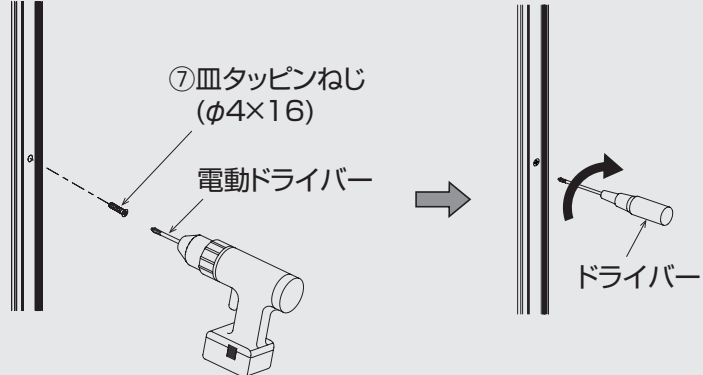
● 上枠部



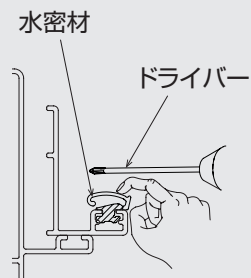
● 下枠部



- 電動ドライバーで最後までねじを締めないでください。枠がへこまないように、最後はドライバーで手回しで締めてください。



- ドライバーと水密材が接触しないように、指で水密材を押さえながらねじで固定してください。



1 上下枠アタッチメント、たて枠アタッチメントを取りはずしてください。

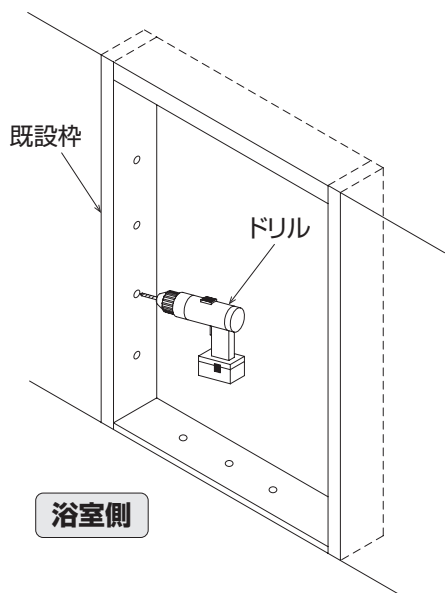


- アタッチメントのAT材がキズ付くおそれがあるためアタッチメントを取りはずしてから下穴加工してください。

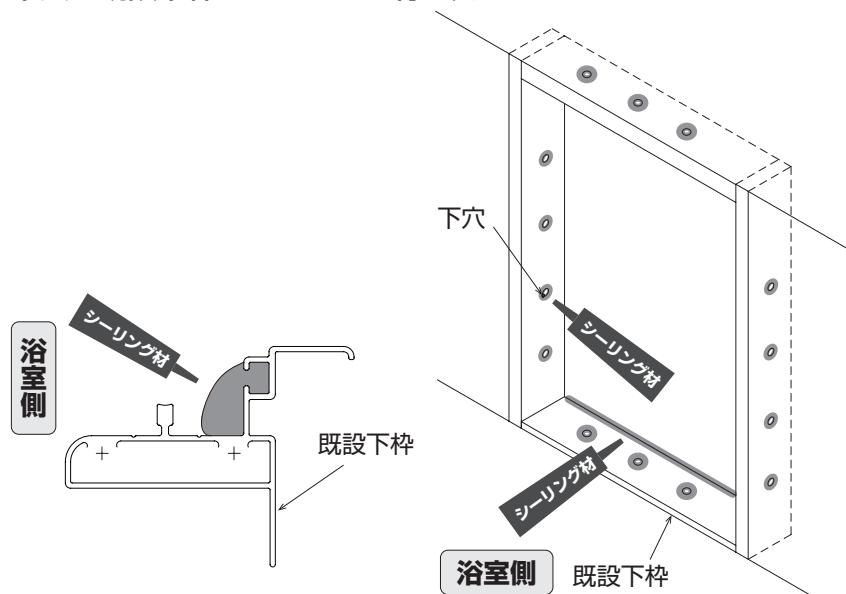
2 けがいた位置に既設枠のみ下穴（φ3.2～3.4）をあけてください。

⚠ 注意

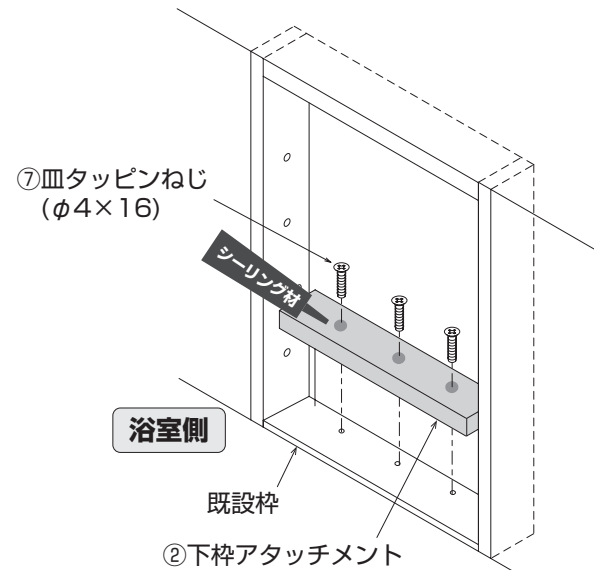
- 躯体まで穴が貫通しないようにしてください。漏水の原因となります。



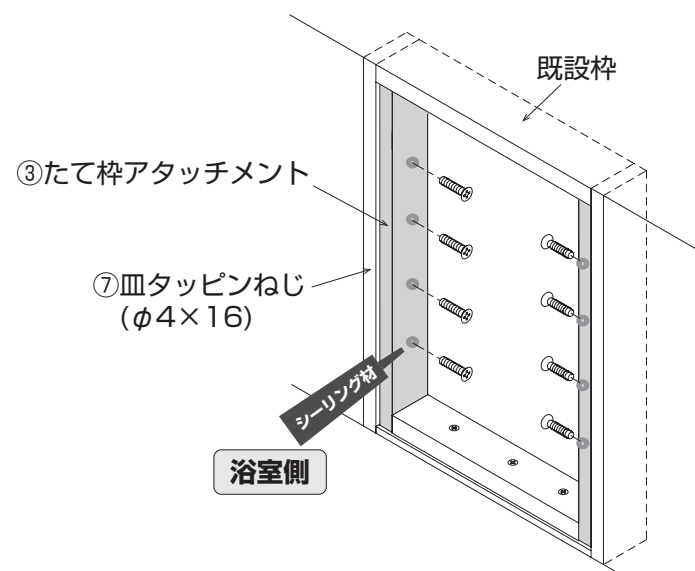
3 下穴・既設下枠にシーリング材を充てんしてください。



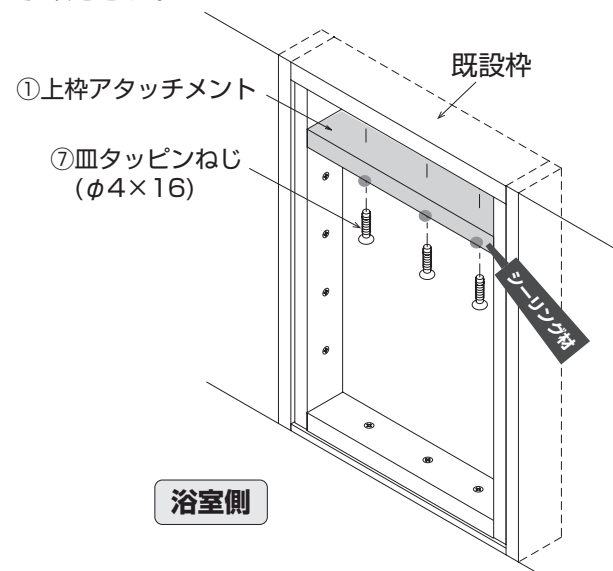
4 下枠アタッチメントのねじ穴にシーリング材を充てんし、既設枠に取り付けてください。



5 たて枠アタッチメントのねじ穴にシーリング材を充てんし、既設枠に取り付けてください。



6 上枠アタッチメントのねじ穴にシーリング材を充てんし、上枠アタッチメントを取り付けてください。

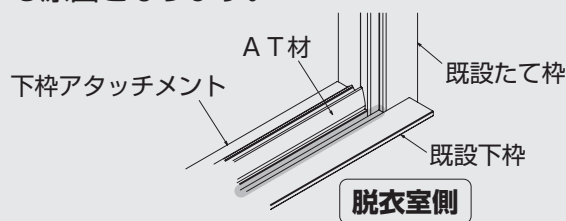


7 はみ出したシーリング材をきれいに拭き取ってください。

シーリング

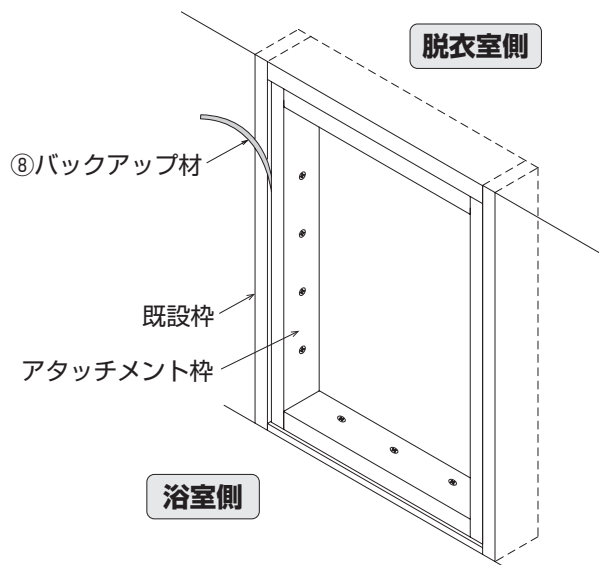


- シーリング材をAT材に付けないでください。AT材が切れる原因となります。



1 枠のねじれ、対角ずれ、フクレ、ツツミのないことを確認してください。
(-2-参照)

2 既設枠とアタッチメント枠間に、バックアップ材を入れてください。



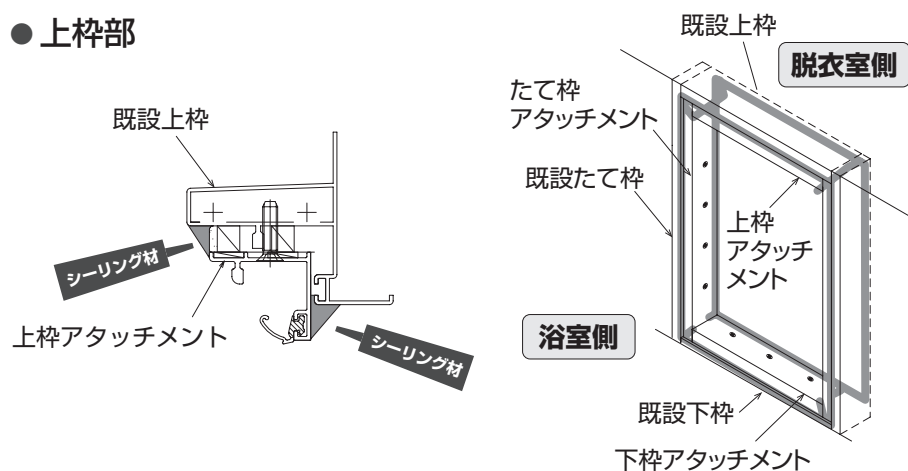
3 ヘラなどを使用して浴室側・脱衣室側の既設枠と、アタッチメント枠間にシーリングしてください。

4 たて枠アタッチメント下部の接合部をすき間なくシーリングしてください。

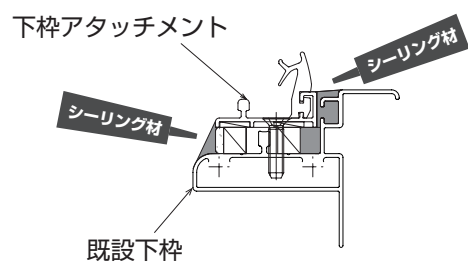


- 下枠アタッチメントに取りつけた排水部品の内部は、排水経路となるためシーリングしないでください。

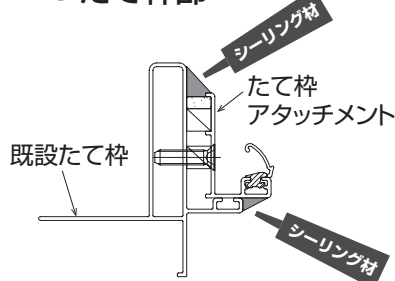
●上枠部



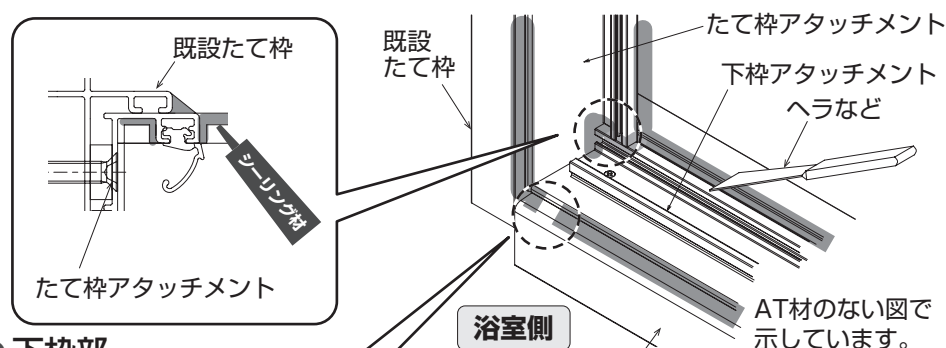
●下枠部



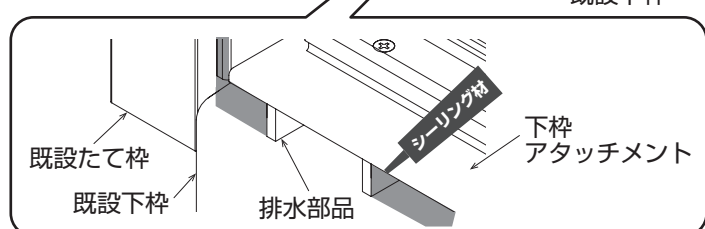
●たて枠部



●たて枠下部



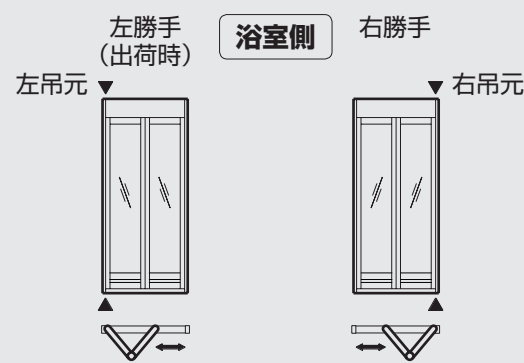
●下枠部



障子の吊元交換（右吊元で使用する場合）



工場出荷時、障子は浴室側から見て左吊元になっています。



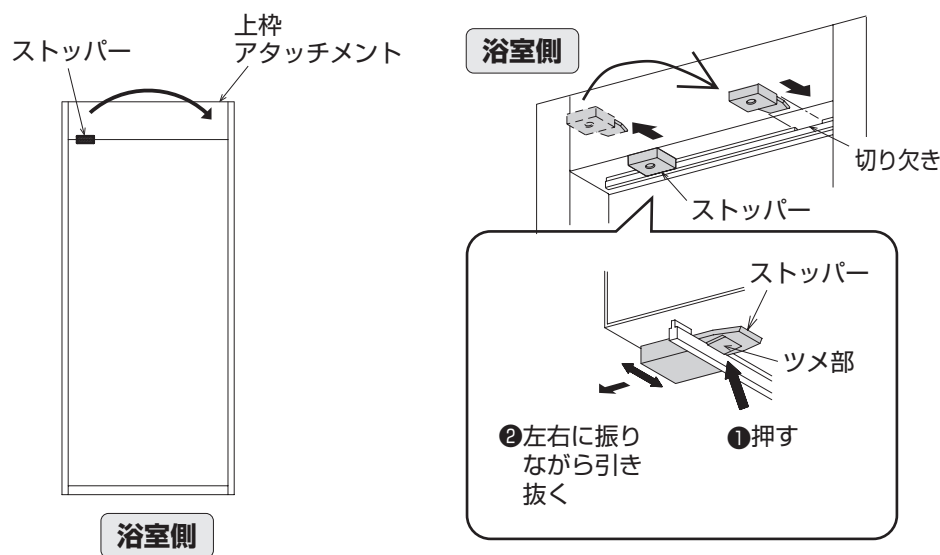
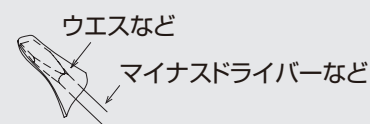
1 上枠アタッチメントのストッパーを取りはずし、反対側の切り欠きに取り付けてください。

⚠ 注意

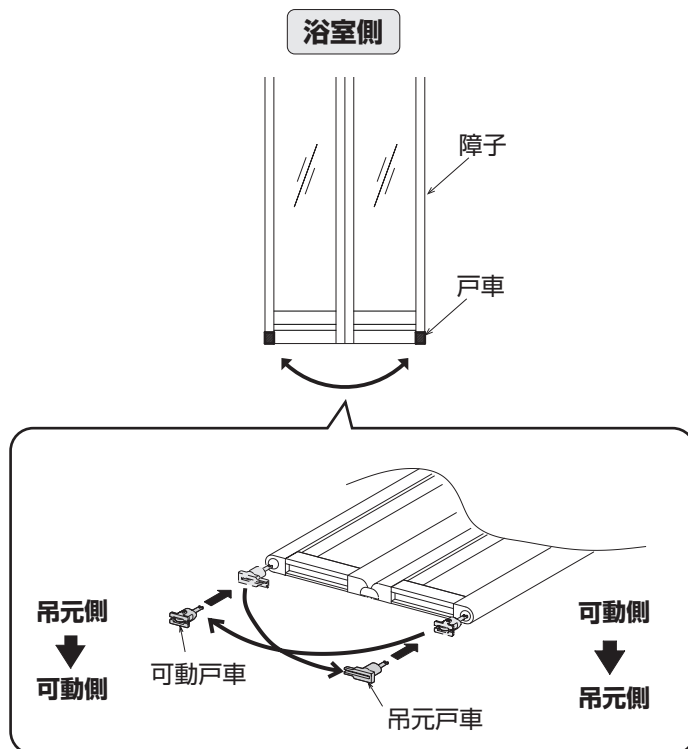
- ストッパーが取り付けられていることを確認してください。取り付けていないと障子脱落のおそれがあります。



- ストッパーのツメ部が押しにくい場合は、マイナスドライバーなどでツメ部を押してください。
- マイナスドライバーなどの先端にウエスなどを巻き、部品にキズをつけないようにしてください。



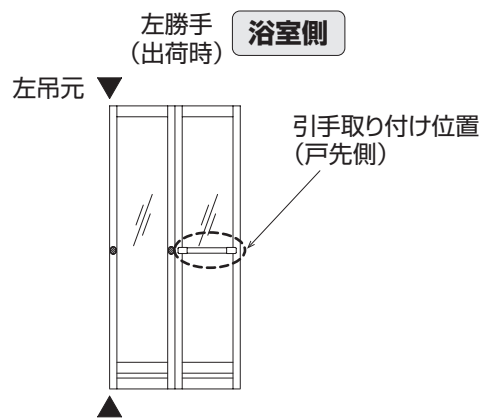
2 障子下部の戸車を引き抜き、吊元側と可動側の差し替えをしてください。



浴室側引手の取り付け

改訂

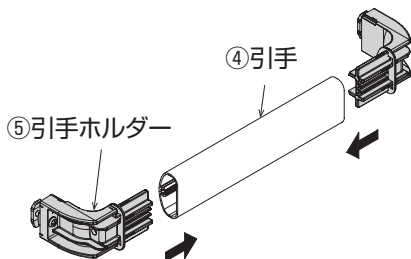
1 引手の勝手を確認してください。



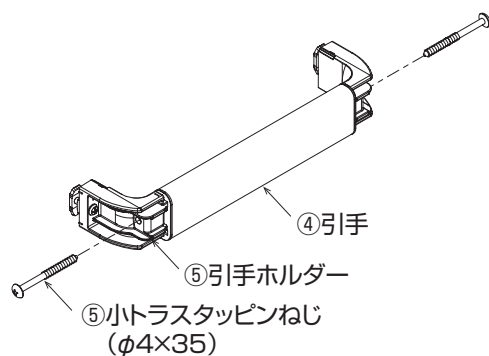
2 引手ホルダーを引手に対してまっすぐに挿入してください。



• 接合部にすき間がなく、異物などがはさまり手指に触れない状態であることを確認してください。

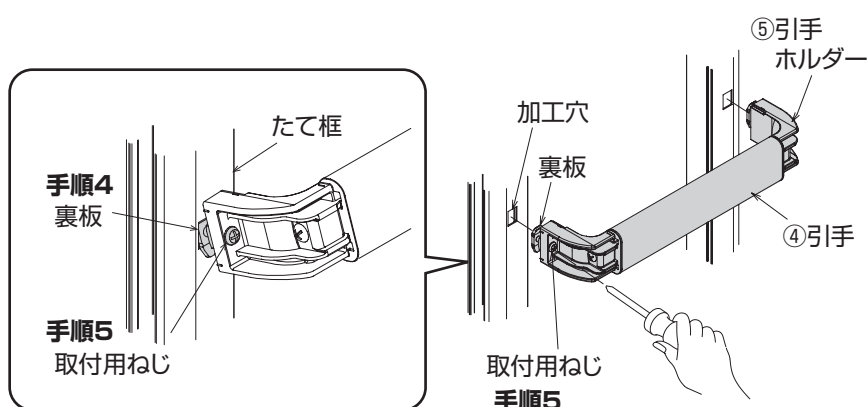


3 引手と引手ホルダーをねじで取り付けてください。

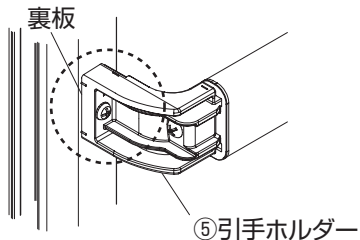


4 裏板をたて框の加工穴に入れてください。

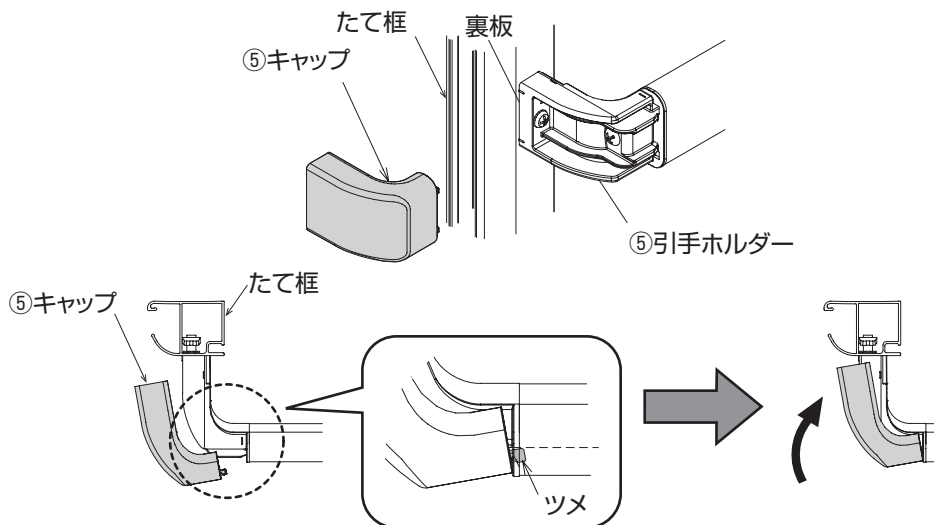
5 引手全体を軽く手前に引きながらねじを締め付けてください。



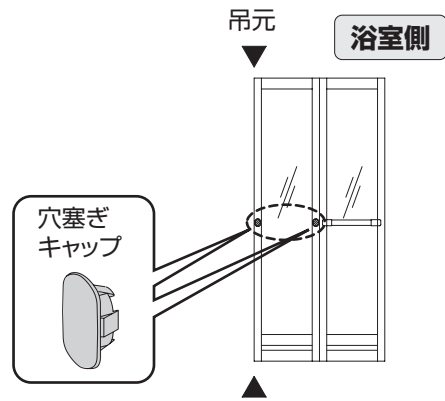
6 引手ホルダーと裏板にすき間やガタつきがないことを確認してください。



7 キャップのツメを引手ホルダーに挿入し、ひっかけた状態でたて框側を押し込んでください。



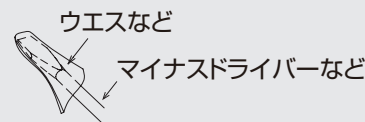
8 吊元側のたて框に、穴塞ぎキャップを取り付けてください。



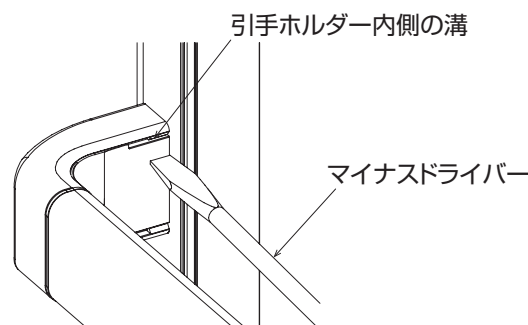
浴室側引手の取り付け後にキャップを取りはずす場合



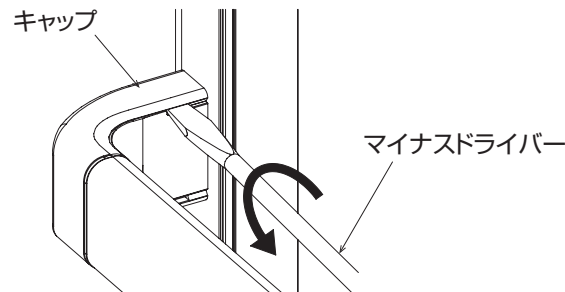
• マイナスドライバーなどの先端にウエスなどを巻き、部品にキズをつけないようにしてください。



1 引手ホルダー内側の溝にマイナスドライバーなどを差し込んでください。



2 キャップの根元側を広げるように、マイナスドライバーなどを回転させてください。



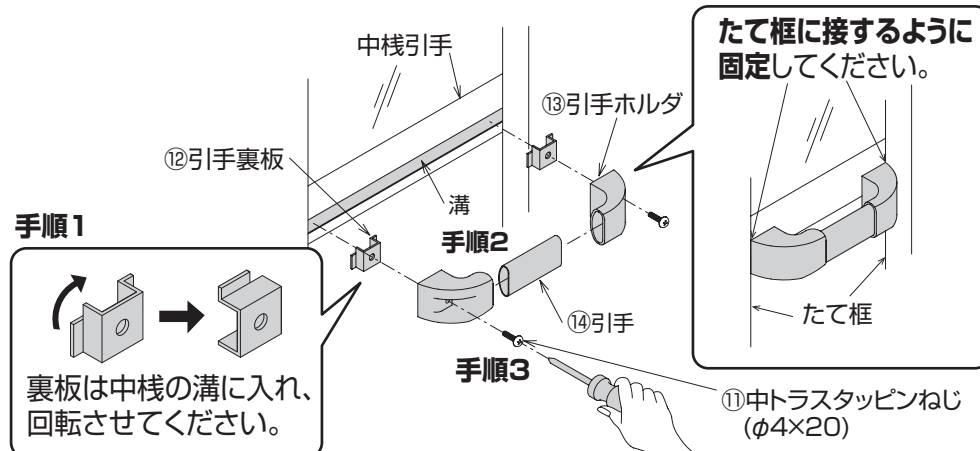
3 同様に下側も取りはずしてください。

アタッチメント枠 四方枠 ガスケット仕様の場合

1 裏板を可動側の中棧引手の溝に入れ、回転させてください。

2 引手を引手ホルダにはめこんでください。

3 引手をたて框に接するように可動側の中棧に固定してください。



脱衣室側引手の取り付け

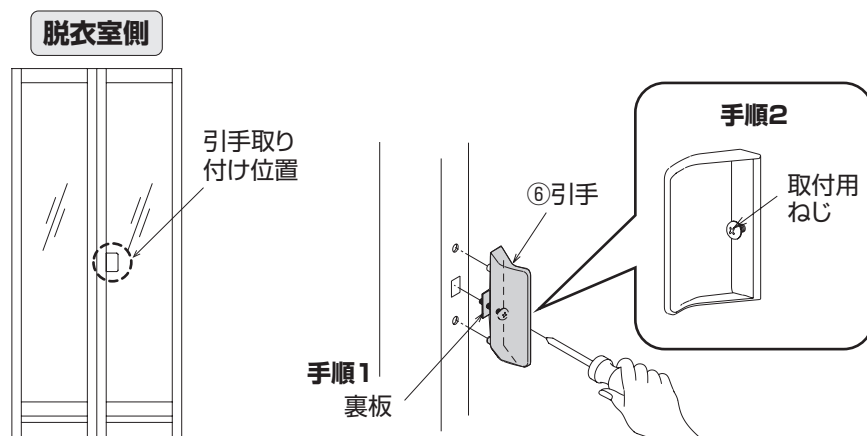


1 浴室側の引手と同様に、裏板をたて中框の加工穴に入れてください。

2 引手全体を軽く手前に引きながら、取付用ねじを締め付けてください。

ガスケット仕様の場合

脱衣室側引手の取り付けはありません。



障子の吊込み

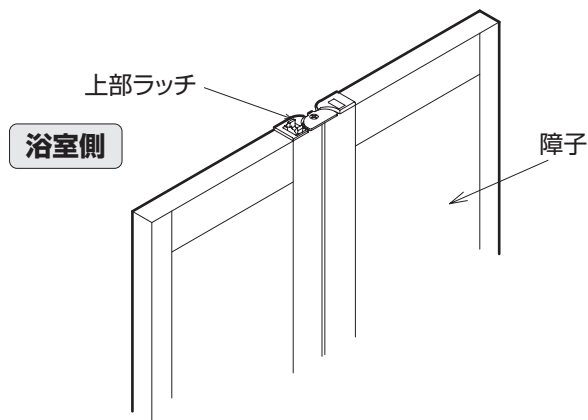
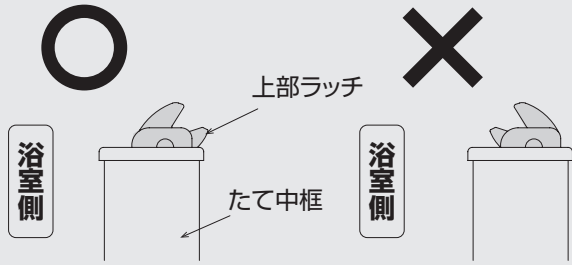


- 障子の吊込みは、上下の戸車を正しくセットしてください。障子はずれるおそれがあります。

1 上部ラッチの向きを確認し、上部ラッチ（ツメ部分）が浴室側へ向いている場合は、脱衣室側へ向きを直してください。

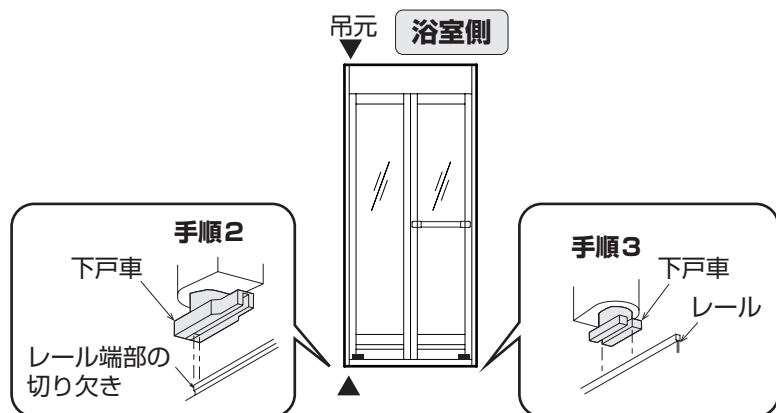


- 上部ラッチ（ツメ部分）が浴室側へ向いたまま使用すると、障子が閉まりきらない場合があります。



2 吊元側の下戸車をレール端部の切り欠きにはめ込み、下戸車が確実にレールにかかっていることを確認してください。

3 可動側の下戸車をレールにはめ込んでください。



4 浴室側から上戸車の向きを確認してください。上戸車は回転させることで吊元側と可動側を変更できます。

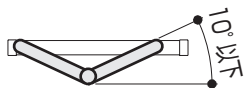


- 上枠の吊元側にストッパーがついていることを確認してください。

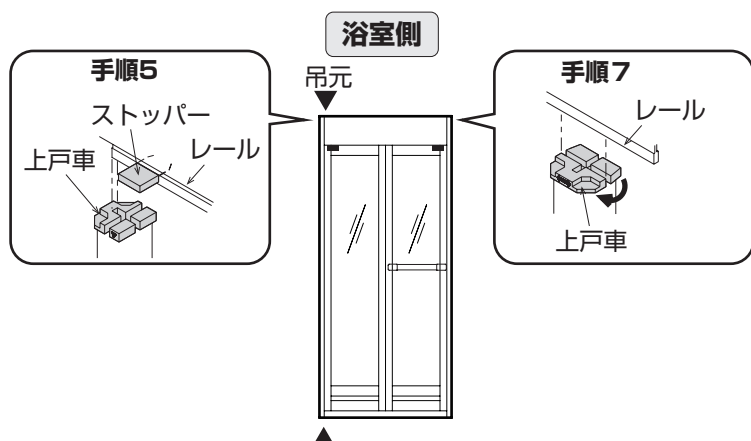


5 吊元側の上戸車をレール端部のストッパー内にはめ込み、下戸車が確実にレールにかかっていることを確認してください。

6 障子を10°以下に開いた状態にしてください。



7 可動側上戸車を回転させ、レールにはめ込んでください。



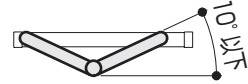
8 障子の開閉確認をしてください。

調整



- 補助的な調整のため、設置のくるいをカバーするものではありません。

1 障子を10°以下に開いた状態にしてください。



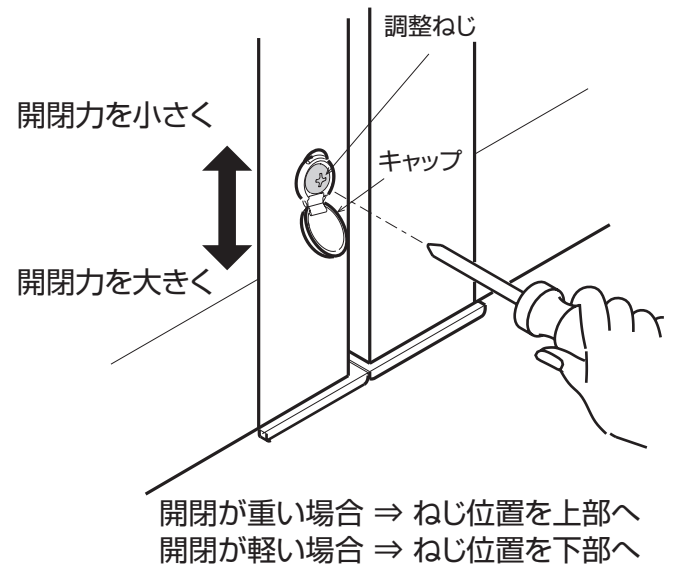
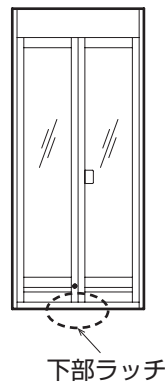
2 キャップをあげ調整ねじをゆるめてください。

3 ラッチとレールのかかり代を調整してください。



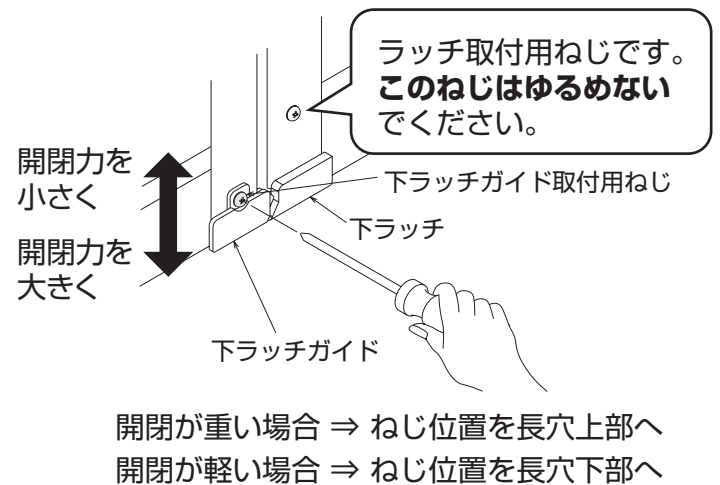
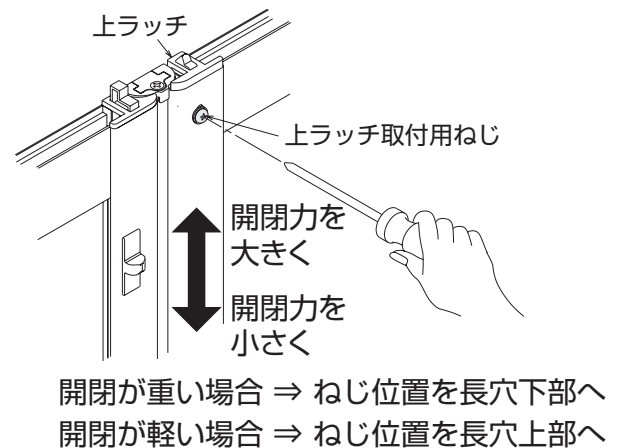
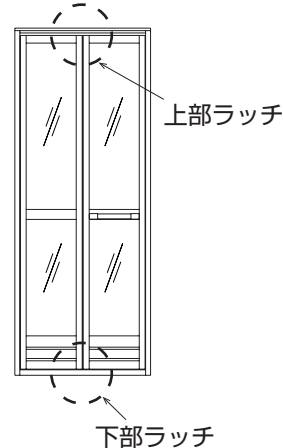
- レールとのかかり代が大きすぎると開閉が重くなります。開閉が重い場合は、再度調整してください。
- 障子を開いた状態で下部ラッチの調整を行ってください。

脱衣室側

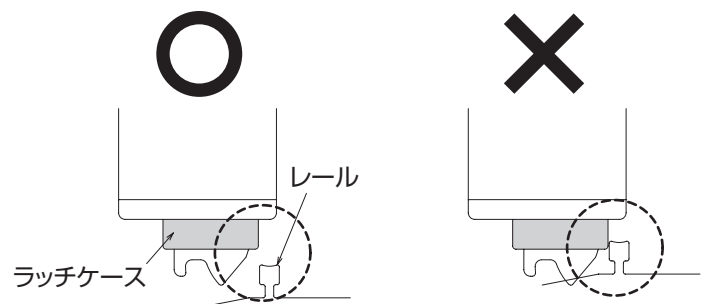


ガスケット仕様の場合

浴室側



4 開閉に支障が出ないように、ラッチケースがレールに干渉しないことを確認してください。



5 ゆるめた調整ねじを締め付け、キャップを閉じてください。